

塙保己一先生遺徳顕彰祭によせて

音楽物語

バリトン 新井健士

今に生きる

はなわ

今こそ塙

こども講談 藤井陽愛

こども講談 若月遥翔

小鼓、能役者
今井尋也

希望

世のため
後のため

「塙は人にあらず、
書物の精が
生まれ変わったのだ」
松平定信の言葉



フルート 綱川 泰典

保己一

「塙先生は、わたしの人生の目標、心の支え
です。苦しいとき、悲しいとき、先生のことを
想い、頑張ることができました。そして、現
在のわたしがいるのです」
ヘレン・ケラーの言葉

ヘレン・ケラーの言葉

「検校は大人物である。学者で、文
化人で、歌人である。実業家で、政
治家でもある。性格はユーモアに
富み、無欲潔癖、活動的、最後に記
憶力をあげておこう」
渋沢栄一の保己一評

渋沢栄一の保己一評



語り・ピアノ 光野 真理



紙芝居 堺 正一

2023年 9月9日(土) <開演> 午後2時 <開場:午後1時30分>

<会場> 児玉文化会館 セルディ

(本庄市児玉町金屋728-2 TEL:0495-72-8851)

入場料 大人、2,000円 中高生、1,000円(小学生以下無料)

主催/「塙保己一先生を講談で聴く会」 共催/「Love Sounds」

後援/本庄市・総検校塙保己一先生遺徳顕彰会・本庄市教育委員会・公益社団法人 温故学会

問い合わせ事務局 ○阿奈正子 090-8741-9998 ○高橋和美 080-5536-2475

○プロデューサー光野真理 090-4451-9476

保己一立像 江戸へ出立

出演者のご紹介



新井 健士 [バリトン]

群馬県出身。山形大学教育学部生涯教育課程音楽文化コース卒業。同大学院を1年次まで在籍後、東京音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻オペラ研究領域に入学し修了。学費免除でドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学マスタークラス修了。第7回日光国際音楽祭声楽コンクール本選入選上位入賞。第4回なかの国際声楽コンクール第2位。浜の風コンクール2020最優秀賞受賞。オペラ・オペレッタではW.A.モーツァルト作曲「フィガロの結婚」フィガロ役、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ役、ドン・アルフォンソ役、「ドン・ジョヴァンニ」レポレッロ役、マゼット役、「魔笛」パパゲーノ役、G.ドニゼッティ作曲「リタ」ガスパロ役、G.ヴェルディ作曲「ドン・カルロ」ロドリゴ役、「リゴレット」リゴレット役、「仮面舞踏会」レナート役、「椿姫」ジェルモン役などを務める。また、L.V.ベートーヴェン作曲「ミサ・ソレムニス」、「第九」、W.A.モーツァルト作曲「レクイエム」などのバスソリストを務める。声楽を秋山隆典、小森輝彦、高橋啓三、藤野祐一、トーマス・プファイファー、コレベイトールを森島英子、木下志寿子の各氏に師事。ぐんま藤岡市民オペラ代表。藤岡市民合唱団講師。ヘルシーコーラス講師。東京音楽大学非常勤講師合唱研究員。
ホームページ <https://araikenji.com>



綱川 泰典 [フルート]

1976年生まれ。埼玉県出身。10歳よりフルートを始める。武蔵野音楽大学卒業。「第42回全日本盲学生音楽コンクール」第2位(1位無し)入賞。「ウインズ・ソロコンテスト」金賞及びヤマハ賞、「第6回ベストプレイヤーズコンテスト」部門優秀賞、「第10回日本クラシック音楽コンクール」全国大会入選、「第1回ドイツ音楽コンクール」優秀賞等受賞。2度のリサイタルやコンサートの企画、全国各地での演奏活動を行う一方、カーネギーホールやウインザー城での演奏等海外でも活躍。その他2枚のCDの録音、TV出演、後進の指導も行っている。日本フルート協会会員。2008年、「第1回塙保己一賞」奨励賞受賞。音楽を通じてバリアフリー交流を目的とした障害者中心の音楽家集団「Team AURORA(アウローラ)」のメンバーとして演奏活動を展開。リサイタルやコンサートの企画、全国各地での演奏を行う。筑波大学附属視覚特別支援学校非常勤講師。第1回塙保己一賞受賞者。



今井 尋也 [小鼓・能役者]

(脚本・演出・能役者・小鼓演奏家)2021年日本演出者協会優秀演出家賞受賞。シルクロード能楽会代表。武蔵野美術大学非常勤講師。幼少より祖父から能楽を学び、十代で初舞台。国立能楽堂研修生・東京芸術大学音楽学部を卒業後、渡仏し、現代演劇、コンテンポラリーダンス等を学ぶ。ローカルでグローバルな身体性を内包するパフォーマーとしてフランスの振付家の作品から舞台作品等に多数出演するほか、国内では、串田和美、小池博史BP等演出の舞台に出演し、現代劇や音楽劇、コンテンポラリーダンスまで幅広く活躍。また、脚本・演出家としてもシルクロード能楽会はじめ幅広く活躍し、神話や民話を題材としたオリジナル脚本と共に能楽の演出方法を用いた斬新な舞台は多くの評論家の支持を集めている。アウトリーチ活動にも積極的に参加し、障害者の施設や小中高学校でワークショップを実施。新作能の脚本・演出・音楽多数。2021年公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京助成事業にて「バリ姫神話」を梅若能楽堂にて上演、作・演出・音楽・出演。等々フリーの小鼓演奏家として国内外を問わずジャンルを超越して活躍中。古典からジャズ、現代音楽まで、迫力の肉声と美しい鼓の音色で小鼓演奏の可能性を極限まで追求している。



光野 真理
[語り・ピアノ]

松山市東方町に生まれる。済美高校音楽科～武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。在学中より、故平間文寿氏主宰声楽研究所「しのぶ会」の専属伴奏者となり、声楽も同氏に師事。卒業後は、講師活動及び様々なシーンでニーズに合わせた演奏活動を展開。地域の文化芸術の発展と、国際交流の推進企画プロデュースも手掛け、平成18年に、外務大臣より感謝状受賞。その後、地域に「より良いものをより身近に」をコンセプトに、任意団体「Love Sounds」を立ち上げる。日本の四季折々移り変わる自然の美しさと先人達が残した歴史の中に、人の幸せは自然と共に、さりげない日常の中にあると気づき、音楽と映像で綴るDVD「大多摩龍の玉伝説」をプロデュース。近年ではジャンルを超えたアーティストと共に、和と洋のコラボで、歴史物語を音楽で語る舞台を企画演出し、自身もピアノを弾きながら語りと歌で、クラシック、ジャズ、ロック、ポップス、邦楽、雅楽、能楽、神楽等音楽のみならず、演芸(落語やマジック等)、さまざまな美術家、舞踊家等を融合した舞台作りを自作自演している。作詞作曲も手掛け、御岳山に咲く、「レンゲショウマの唄」「幸せの吉野峡」「武蔵野の空に抱かれ」「愛の光」など作詞作曲。平成24年8月東京都倫理法人会設立30周年記念 ミュージカル「幸せになる法則を見つけた男(ひと)」の作曲を担当する。ミュージカルのボイストレーナーや、若手音楽家の育成、ジャンルを超えたライブ活動、他の芸術とのコラボ企画など、生演奏を通して心の絆を広げていく活動で、次世代の未来永遠の幸せと、地球の平和を願っている。



堺 正一 [紙芝居]

1943年、埼玉県川越市生に生まれる。早稲田大学法学部・同教育学部卒業。県立高校の教員を経て、心身に障害のある子どもたちの教育にたずさわる。埼玉県教育委員会、各種障害児学校の校長等を経て立正大学教授。特別支援教育の教員養成を担当する。この間、障害児者理解啓発のために「平和と障害児教育」をテーマに講演・著述・ボランティア活動に取り組んでいる。人権、平和に視点を置き、高齢者施設、障害者施設、保育所・幼稚園、公園等において紙芝居を上演。福祉施設での定期公演をはじめ、街頭紙芝居、国策紙芝居、文芸紙芝居、教育紙、芝居等の公演を続けている。著書に『塙保己一とともに ヘレン・ケラーと塙保己一』『続塙保己一とともに いまに生きる盲偉人のあゆみ』(ともにはる書房)、『素顔の塙保己一 盲目の学者を支えた女性たち』『埼玉県の三偉人に学ぶ』(ともに埼玉新聞社)等多数。
第15回塙保己一賞受賞者。



若月 遥翔 [こども講演]
(本庄市立金屋小学校6年生)

僕は、昨年から講演を始めました。宝井琴鶴先生に、何度か稽古をつけていただきました。目線や声の強弱だけで話を進めていく事が、とても難しいです。でも、塙先生の事を講演で話していると、塙先生を身近に感じるような気がします。そして、僕のつたない講演でも、皆さんが笑ってくれたり掛け声をかけてくれる事があり、とても嬉しいです。これからも、講演で塙先生の事を伝えていきたいです。



藤井 陽愛 [こども講演]
(本庄市立藤田小学校5年生)

私は、講演や劇に参加している時、とても緊張します。講演の難しいところは、場面によって言い方が変わるところです。何か、大変な事が起きた時は、重々しくいたり、強調したりするところです。自分の講演を聞いて、お客様は、場面の様子が浮かぶかな・等を考えながら練習しています。講演後の達成感は大きく、やりがいがあります。これからも、講演や劇を頑張りたいです。